

霞ヶ浦に世界一の噴水をつくる会活動報告

観光誘客セミナー

平成 26 年 6 月 19 日 ホテルマロウド筑波

交流人口の拡大による賑わい創出を目指し「霞ヶ浦を中心とした一体的な水辺整備」や、歴史資源を活用した「まちなか観光」など、観光をテーマにした施策が求められるなか、観光文化研究の第一人者である、山田雄一氏を招き、環境に応じたアイディアや機会をとらえた「観光によるまちづくり」の可能性について講演をいただきました。

山田氏は、宿泊観光の需要が縮小を続ける中、観光まちづくりは、地域の良さが外の人々に「観光対象」として認知され、来訪動機を生じさせることが必要。観光需要だけを当て込むことなく、日常的な活動の中から持続的に生み出される魅力を創造することが重要である。土浦市が進める、霞ヶ浦大噴水による観光誘客について、単体では来訪動機を満たすことはできないため、噴水に関わる活動を地域の文化に高めて行くことが必要と話されました。



市内観光関係者 80 名を前に講演する山田氏